



PLESS RELEASE

各位



//////
大阪国際大学が7月3日に米・ハーバード大学アカペラグループの学生との交流会を開催 ～「ハーバード大学ライフ」をテーマにディスカッション、ミニライブも
//////

大阪国際大学(大阪府守口市)は7月3日(火)に、ハーバード大学の学生アカペラグループ「Din & Tonics(デイン&トニックス)」のメンバー12人を迎えて交流会を開催する。大阪国際大学は2012年からハーバード大学と交流を続けており、今回で4度目の来学となる。当日は、「ハーバード大学ライフ」などをテーマとしたトークディスカッションのほか、「Din & Tonics」によるミニライブとランチミーティングも実施。ミニライブは一般の参加も可(入場無料)。

「Din & Tonics」は、アメリカを代表するハーバード大学の現役学生で構成されるアカペラグループ。発足以来80年の歴史を持ち、その音楽活動は米国内で高く評価されている。現在、1年生から4年生の学生が所属し、部長は2年生のSam Rosnerさんが務めている。

同グループは2年に1回世界ツアーを行っており、過去3回(2012年、2014年、2016年)の来日時に大阪国際大学を訪れ、同大学生との交流や音楽コンサートを実施。過去の来学時においても、同大学生と活発な意見交換が行われ、音楽コンサートも大変好評だった。

このたび、大阪国際大学の「訪日の際はぜひ本学を訪れてほしい」との要望により、4回目の来学が実現。7月3日(火)に同大学生との交流会を開催する。

学生交流授業では「使える英語の実践」を目指してトークディスカッションを実施。「Harvard University Life」や「Unforgettable or Interesting Experiences while touring with Din & Tonics」をテーマとした討論を行う。異文化間コミュニケーションの実践と能力の向上が期待されるほか、ハーバード大学の雰囲気や学生の気質などを知る機会となる。

さらに、ディスカッション後には「Din & Tonics」によるミニライブを開催。鍛錬された歌声を披露する。